

NAGAHARA KOTA

KAGITOMI GENTARO

長原幸太 & 鍵富弦太郎

ヴァイオリン デュオ リサイタル

ヴァイオリン

長原幸太

NAGAHARA KOTA

煌めくテクニクの饗宴

ヴァイオリン

鍵富弦太郎

KAGITOMI GENTARO

2023 7.12 (水) 開場 18:30
日時 / 東京公演 開演 19:00

会場 / ムジカーザ 東京都渋谷区西原3-33-1

チケット / 一般：4,000円 学生：2,000円

・未就学児入場不可。

・学生券をお求めの方は当日学生証をお持ちください。

チケットのお求めはこちらから

<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2244994>



<https://pia.jp/>



Program

エルンスト —

「夏の名残のバラ」による変奏曲

リスト (N.ミルシティン編曲) —

メフィスト・ワルツ 第1番

シュボワ —

デュオ・コンチェルタンテ 作品67-2

ほか

KOTA NAGAHARA and GENTARO KAGITOMI VIOLIN DUO RECITAL

NAGAHARA KOTA

KAGITOMI GENTARO

長原幸太 & 鍵富弦太郎

煌めくテクニックの饗宴



[ヴァイオリン]

長原 幸太

NAGAHARA KOTA

広島出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を経て東京芸術大学入学。在学中、全額スカラシップを受けジュリアード音楽院で学ぶ。小6、中1と連続して全日本学生音楽コンクール全国第1位。13歳で第6回ヴィニエアフスキ国際ヴァイオリン・コンクール17歳以下の部第3位。17歳で第67回日本音楽コンクール最年少優勝、レウカディア賞、驚見賞、黒柳賞を受賞。12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに、国内の主要オーケストラ、小澤征爾、故・ゲオハルト・ボッセ等多くの名指揮者と共演。国内外の多くの音楽祭にも招かれ、リサイタル、コンチェルト、室内楽に出演し、絶賛を博し高い評価を得ている。「東京・春・音楽祭」でリカルド・ムーティと共演し信頼を得るほか、サイトウ・キネン・オーケストラでもコンサートマスターを務める。広島市長賞、広島県教育長賞、広島ホームテレビ文化・スポーツ賞(最年少受賞)、東京芸術大学の福島賞、大阪市「咲くやこの花賞」、「広島文化賞 新人賞」、など受賞多数。06年から12年まで大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター、14年10月より読売日本交響楽団コンサートマスターを務める他、ソリスト、室内楽奏者、として国内外で活躍中。東京芸術大学、及び相愛大学の非常勤講師を務める等、後進の指導も行っている。リサイタルのライブ録音のCD「長原幸太ヴァイオリンリサイタル2013」を好評発売中。

長原幸太: オフィシャルウェブサイト
<https://www.kotanagahara.com/>



[ヴァイオリン]

鍵富 弦太郎

KAGITOMI GENTARO

1986年新潟市生まれ。12歳で新潟芸術文化会館開館記念ガラコンサートにてソリストデビュー。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席で卒業し、桐朋学園大学ソリストディプロマコースに進学。高校在学中にビクターエンタテインメントよりCDデビュー。「ヴィヴァーチェ」「歌い出した鳥」2枚のCDをリリース。第55回全日本学生音楽コンクール、中学生の部東京大会第1位。日本チャイコフスキーコンクール青少年の部第1位。第72回日本音楽コンクール第1位。併せてレウカディア賞、驚見賞、黒柳賞受賞。調布市芸術功労賞受賞。これまでに奥村和雄氏、辰巳明子氏に師事。桐朋学園50周年記念コンサートにて小澤征爾指揮 桐朋OBオーケストラとソリストとして共演。東京交響楽団、新日本フィルハーモニー、アンサンブル金沢他、岩城宏一氏、秋山和慶氏、飯守泰次郎氏らと共演。公益財団法人日本青少年文化センターの青少年劇場にて、全国各地の学校で演奏会を開催。また、レスパス弦楽四重奏団など、室内楽活動を展開するほか、日本各地のオーケストラにコンサートマスターとして客演、サンクトペテルブルク音楽祭への招聘や、国際交流基金よりカナダ5都市に派遣されるなど、国内外で活躍している。2019年7月、日本アコースティックレコードより"フランク: ヴァイオリン・ソナタ"をリリース。

鍵富弦太郎: オフィシャルウェブサイト
<https://www.gentaro-k.com/>



会場



MUSICASA

151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1
 Tel.03-5454-0054 Fax.03-5454-0053

